

第1回大和高田市新庁舎建設基本構想等策定委員会 議事録

1 会議の名称	第1回大和高田市新庁舎建設基本構想等策定委員会
2 開催日時	平成29年 1月18日(水) 開会：10時00分 閉会：12時00分
3 開催場所	大和高田市役所4階 合同委員会室
4 議題	1) 委嘱状交付式 2) 第1回大和高田市新庁舎建設基本構想等策定委員会 議題1 委員長の互選について 議題2 諮問「大和高田市新庁舎建設基本構想の策定について」 議題3 市民アンケート調査票(素案)について 議題4 今後の委員会の進め方について
5 非公開の理由(会議を非公開とした場合)	—
6 出席した者(傍聴人を除く。)の氏名	委員15名中 15名出席 吉田市長 基本構想等策定委員： 三井田康記、増田武雄、清水裕子、河村憲一、宮本多喜子、和田利和、杵田定美、友田順子、佐々木央子、福西武之、阪本和子、辻岡勝治、野田安子、梅田全克、森美奈子 事務局：谷河財務部長、岡谷財産管理課長、小野財産管理課庁舎建設準備係長 (株)ニュージェック：小田、田中、島、上原、柴原
7 傍聴人の数	2名
8 会議資料の名称	資料1 新庁舎建設基本構想等策定委員会条例 資料2 新庁舎建設基本構想等策定委員会委員名簿 資料3 会議の公開について 資料4 諮問書(写し) 資料5 市民アンケート調査票(素案) 資料6 新庁舎建設基本構想等策定推進体制 資料7 基本構想・基本計画策定スケジュール
9 発言の内容	次頁以降による

議題 1 委員長の互選について

【事務局】

委員会条例第5条により、「委員長は委員の互選により定める」とありますので、まず委員長を決めていただきたいと思います。

【杵田委員】

事務局の考えがあれば示してほしいと思います。

【事務局】

事務局としては、学識経験者である三井田委員を推薦してはどうかと考えています。

(異議なし)

【事務局】

それでは三井田委員にお願いいたします。

【三井田委員長】

みなさんには活発な議論をお願いしたいと思います。誠心誠意務めますので、委員会の進行にご協力お願いいたします。

【事務局】

副委員長につきましては委員長よりご指名いただきたいと思います。

【三井田委員長】

増田氏をお願いしたいと思います。

(異議なし)

【事務局】

それでは増田副委員長、ごあいさつをお願いいたします。

【増田副委員長】

委員長の補佐を精一杯務めさせていただきます。どうぞよろしくをお願いいたします。

議題 2 諮問「大和高田市新庁舎建設基本構想の策定について」

【吉田市長】

(諮問、資料4)

【委員】

(意見なし)

議題 3 市民アンケート調査票（素案）について

【事務局】

（資料 5 市民アンケート調査票（素案）の説明）

【辻岡委員】

質問 1 4 で建設場所についての問いがありますが、市がどのように考えて動いているのか見えないと話が進まないのではないかと思います。決められた枠の中で議論するのであれば、それを提示していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

【事務局】

市としましては、現時点では、県の高田総合庁舎跡地、現庁舎位置、高田川の反対側のエリアなど公共施設が集中しているこのシビックコア地区での可能性を考えており、別途、予算・庁舎の規模・敷地の確保等の検討と情報収集を行っています。今後そういった情報をご提示しながら、ご意見をお伺いして決定してまいりたいと考えております。

【辻岡委員】

他市の同様の委員会の資料を見ましたが、作業量がとても多いという印象です。このようなものを作っていくということであれば、事務局側ではもうスタートをしていることだと思いますので、計画案があるものは公開してほしいと思います。

【事務局】

貴重なお時間を頂戴していることは承知しております。できるだけ早く、たたき台は提示させていただきます。この委員会と並行してまちづくり関係の意見交換会やワークショップも開催しています。そちらの結果も考慮して場所の決定をしていきたいと考えております。そうした決定事項についてはご提示いたしますので、そちらも含めて協議していただきたいと思います。

【三井田委員長】

市の考え方としては、候補地を今後委員会の中でお示ししながら徐々に絞り込んでいくということだと思いますが、それでよろしいでしょうか。市民や街に与える影響が大きいので、アンケートではあまり詳細な場所は書けないということだと思います。

【事務局】

新庁舎の位置の決定は、議会でも 3 分の 2 以上の議決が必要な事項になっていますので、我々も候補地の公開については非常に慎重になっております。

【枚田委員】

質問 5 の選択肢は、本庁と別棟になっていますが、他の場所に分散している庁舎も選択肢にあった方がよいのではないのでしょうか。市民からすれば、市役所へ行ったつもりが別の場所へ案内されたという場合もあると思います。

【三井田委員長】

そうですね。分庁舎としてはどのあたりにあるのでしょうか。

【事務局】

市民の行政窓口がある施設としては上下水道部庁舎があります。

【三井田委員長】

選択肢としては「分庁舎」それとも「上下水道部庁舎」とすべきかどちらでしょうか。

【事務局】

行政目的の施設としては、上下水道部庁舎以外にも、保健センターや図書館があります。その中で上下水道部庁舎はポンプを動かすような水道施設も併設しており、市役所庁舎と統合するのは難しいと考えております。

【辻岡委員】

水道施設としての機能はどこにあってもよいと思いますが、市民の窓口は本庁1か所にまとめるべきではないでしょうか。

【三井田委員長】

やはりワンストップ行政、ひとつの窓口に行けばすべてことが足りる、そのようなサービスを目指していかなければならない、ということですね。

大和高田市には他にも分庁舎があるのですか。

【事務局】

一般的な行政サービスを行うための施設という意味では、上下水道部庁舎になります。また、ワンストップサービスについてですが、将来的には水道施設（送水場）を無人にして、窓口については市役所庁舎と統一することも検討していきたいと思います。

【辻岡委員】

水道施設については問題ないでしょうが、窓口対応として市民をふりまわすべきではないと思います。

【三井田委員長】

質問13の選択肢にそのような主旨の文言を加えるのはどうでしょうか。

【辻岡委員】

市役所に行けばすべてが済むという考え方にすべきで、水道施設の職員と窓口は別にすべきだと思います。

【事務局】

質問11の3を「申請や相談など」としてはどうでしょうか。そうした窓口環境も含めて質問13の2「気持ちよく」の意味合いだととらえていただければと思います。

【三井田委員長】

言葉を補うなど、検討していただければと思います。

また質問5には、分庁舎（上下水道部）を入れる必要がありますか。本庁舎と別棟にはそれぞれどのような部課があるのでしょうか。

【事務局】

本庁舎には、市民課や税務課などの部課があり、別棟には、土木管理課や都市計画課など技術系の部課があります。

【辻岡委員】

本庁舎と別棟の間は離れていないので市民もそれほど不便を感じていないのではないのでしょうか。上下水道部庁舎については車での移動になるので不便だと思います。

【梅田委員】

別棟は本庁舎に入らなかった部分になるので、ここでは一体でよいのではないのでしょうか。別棟というのは本庁の2階や3階を分けるようなものです。本庁舎と分散している別の庁舎に分けるのでよいと思います。

【三井田委員長】

それでは質問5の選択肢も変えてもらいましょう。よろしくお願いします。

【杵田委員】

教育委員会や保健センターも本来は本庁舎にあるべきだと思いますので、「別庁舎」がよいと思います。

また、質問12の選択肢にフリーWi-Fi エリアも追加してはどうでしょうか。駅などでも増えているので庁舎にもあった方がよいと思います。

【事務局】

追加する方向で検討します。

【清水委員】

時間軸を示すようなキーワードも盛り込むべきだと思います。ライフスタイルが変化している中で、営業時間は昔から変わりません。例えば、休日の開庁や時間の延長などは市民の需要としてあると思います。アンケートで窓口の利便性などを問う場合も、そういった具体的な文言がないとなかなか出てこないと思います。

【事務局】

休日の開庁などは行政のあり方が大きく変わるため、行政自体への影響が大きいのではないかと考えます。遅い時間まで開庁していれば便利だというのは当然ですが、限られた職員の中では厳しいと考えます。

【清水委員】

新庁舎で休日窓口を設置するなどの対応ができるのではないですか。

【事務局】

マイナンバー制度により、まもなくコンビニからも住民票や印鑑証明などが発行できるようになります。市民の方が最も利用されるサービスについてはそちらで対応できる場所もあります。

【辻岡委員】

市役所の開庁時間は全国共通だと思いますが、市民の直接必要な証明等サービスは、徐々にコンビニの利用が進んでいるので、あえてそれを大和高田市が考え直す必要はないと思います。

【事務局】

休日サービスについては、現在も効率化を進めているところですが、その拡大についても今後検討していきたいと思います。

【三井田委員長】

窓口を夜間も休日も開けておくというのは難しいですが、例えば質問12のような市民のための付加機能の部分を、いつでも使えるようにすることは空間的配慮で可能ではないのでしょうか。

【佐々木委員】

質問9はどのような意図の質問でしょうか。

【事務局】

待合スペースや駐車場台数の検討のため、待ち時間の参考にします。

【佐々木委員】

駐車場で駐車スペースを探す時間も滞在時間に含めるということですね。

【事務局】

補足ですが、質問12のような付加機能が実際に設置されれば、滞在時間も長くなるかもしれません。

【三井田委員長】

このアンケートの反映の形として、どのように市民に伝えるのでしょうか。

【事務局】

市のホームページに、このアンケート結果について議論した会議録を掲載します。また、アンケート実施の予告および結果も掲載します。

【三井田委員長】

ホームページはどの程度見られているのでしょうか。「市政だより」は見られていますよね。

【辻岡委員】

高田市の人は、高齢者等あまりパソコンを使わない人が多いと思います。

【事務局】

「市政だより」にも掲載するなど、配慮したいと思います。

議題4 今後の委員会の進め方について

【事務局】

(資料6 推進体制、資料7 策定スケジュールの説明)

次回委員会は3月22日、議事録は委員の皆様にもメール又は郵送し、確認後公開させていただきます。

【辻岡委員】

例えば床面積を決めるときの組織構成や職員数など、事前に公開していただけるのですか。

【事務局】

市の職員構成などは公表されており、提供いたします。

【三井田委員長】

市が市民に対して隠すこと自体がありません。机上の空論ではなく率直な議論をするためにも、具体的な話をした方がよいでしょう。細かな議論の積み重ねが良い庁舎を作ると思います。

【辻岡委員】

53年ぶりの新庁舎なので、奈良県内でも誇れるようなものにしたいと思います。

【宮本委員】

障害者に配慮した庁舎にしてほしいので、アンケートとは別に、障害者の方の意見も聴いてほしいと思います。いつごろまでにそうしたことをすればよいか教えていただきたいです。

【三井田委員長】

アンケートに反映されない部分で、できるだけ早い段階でいろいろな団体にヒアリングしてほしいと思いますが、そのあたりのスケジュールはいかがでしょうか。

【事務局】

事務局に来ていただければ、いつでもお話を聴かせていただきますし、市民向けには庁舎の中に意見箱も設置したいと考えております。またそれについてもホームページ等で周知をしていきます。

【三井田委員長】

その程度では足りないのでは。

【事務局】

ご意見の主旨として、例えばどのような形を想定されていますか。

【宮本委員】

障害者の人ひとりひとりの個別面談でしょうか。子育て世代や高齢者の方もよいと思います。

【三井田委員長】

できるだけダイレクトに意見を聴いてほしいということですね。

【事務局】

分かりました。対応については、また相談させていただければと思います。

【宮本委員】

委員は比較的高齢の方が多いので、若い人の意見も聴いてほしいと思います。市のワーキンググループはどうでしょうか。

【事務局】

ワーキンググループはなるべく若い職員の意見が取り入れられるような仕組みにしたいと考えております。

【野田委員】

これまでもアンケートが実施されていたと思いますが、実際に見たことがないという人も多いです。ホームページで掲載されていても、あまり見ないと思います。公共施設の窓口にも置いて、3千人とは別になりますがより多くの人の回答を得るべきではないでしょうか。

【梅田委員】

同じアンケートの内容でそのようにしてしまうと、対象者を無作為に選んでいる意味がなくなると思います。必要があれば別の形で意見を拾っていったらどうでしょうか。

【三井田委員長】

意見を得る機会にはアンケートだけではありません。ヒアリングなど、できるだけその機会をつくっていただけるよう、事務局にお願いしたいと思います。

【事務局】

資料7のスケジュールにもありますが、市民ワークショップも今後開催させていただく予定です。

【三井田委員長】

他に意見等はありませんでしょうか。(意見等なし)
それではこれで委員会を終わりたいと思います。
ありがとうございました。